

ainoha  
- アイバノコトノハ -



-特集-

和風リノベーション

風が吹き抜けていくような贅沢な景色

take free  
ご自由にお持ち帰りください

2014 \* January vol.25

「生まれ育った生家を残したい」というI様の想いから始まったリノベーション工事。2階建てから平屋へと減築され、浴室も離れへと分離されました。

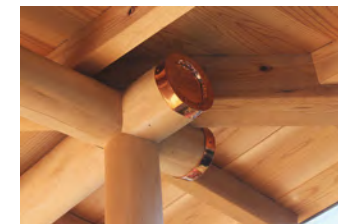


## 風が吹き抜けていくような贅沢な景色

本格和風にリノベーションしたI様のおうちへ取材に伺いました。

I様のこだわりはなんといっても家の周りをぐるりと囲む立派な濡れ縁。ちょうど家の内と外の間にあるので、家の内部の安心感と外の開けた景色の両方を味わえる贅沢な場所です。それぞれの部屋へ、濡れ縁を通じて出入りできるのも魅力ですね。写真撮影をさせていただきながらぐるぐると歩いておりましたが、家に居ながら色々な角度から景色を眺めることができ、とても新鮮でした。

I様のこだわりを見事に表現したのは、野沢正光建築工房の野沢正光さん。今回のリノベーションでの見せ場の一つ、和室の両側の大きく開けた窓は野沢さんによるこだわり。この窓も濡れ縁と共に、外との自然な繋がりを大切にされている印象でした。そんな各所の「こだわり」をご紹介します。



上:美しい丸太の桁に職人の技が光ります。  
左:家を囲む濡れ縁。



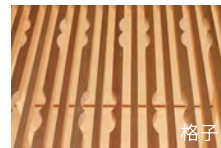
## 家づくりのこだわり



和室

## 職人さんの手仕事

こだわりデザインを、よりよく見せているのが職人さんの手仕事。良い材と職人の技で仕上げているからこそ、趣のある空間が生まれます。けれど職人の手仕事は、私たちがなかなか気づかない意外なところまで施されています。今回は、その手仕事のひとつを秋山大工に伺いました。



格子

秋山です。

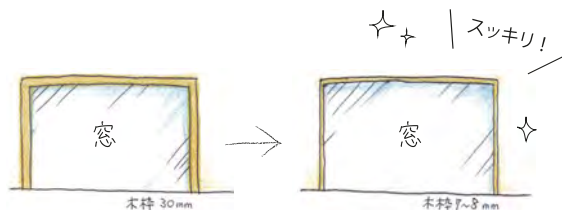


担当：秋山大工さん

家づくりでは、建築家さんの設計ポイント(見せ場)を見抜くことが重要だと思っているよ。今回の家では、手前から奥に風が吹き抜けていくような、大きく開けた窓と、その先の風景を綺麗に見せたいというのがポイントだった。景色を自然に見せるには、周りの木枠の存在が気にならないように「はっかけ納まり」という造りにしたんだ。

### 「はっかけ納まり」とは？

窓の周りの木枠を削って、見えている幅を小さくすること。普通は30mmのところを7~8mmに削ります。ミリ単位の差でも見え方はだいぶ違って見えます。



木枠 30mm

木枠 7~8mm



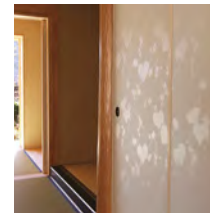
離れから見た母屋

離れのバスルームから母屋を一望できるのは野沢さんのこだわり。離れから眺めた時に風の通り抜けるような広い開口部が、より魅力的に見えるようにつくられています。さらにバスルームの窓も大きく全開できるようにしており、ガラス越しでなく生の景色を眺めることができます。



母屋から見た離れ

手前の母屋から、石のアプローチで離れのバスルームへと繋がっています。このアプローチはもともと敷地内にあった石を再利用してつくられました。外に出て移動することによって、その時の季節感を肌で直に感じることができます。お風呂上りに外の空気に触れるのもとても気持ち良さそうですね。



### 襖紙

大きな窓から差し込む光で、襖紙にあしらわれた模様が綺麗に浮かび上がります。



### 一枚板のテーブル

脚の部分が伸縮する仕組みになっているので、床下に収めることができます。

### -取材後記-

この日はとても天気良く、濡れ縁が絶好のひだまりスポットになっていました。撮影の合間にちよくちよく日に当たらせていただいたり。突 離れのバスルームから見る和室の奥へと続く景色は本当に良かったです。その良さは建築家さんや職人さんたちの想いがあるからこそできるものなんですね！取材させて頂きありがとうございました。

野沢正光建築工房 <http://www.noz-bw.com/capture.php>



文/広報 吉川







## 自分でつくる自分好みの空間

青葉町にある木造ドミノのモデルハウスがリノベーションにより、今までとちょっと違う、新しい空間に生まれ変わりました！

空間デザインは「夏水組」によるもの。見どころは盛りだくさんですが、一番のメインはカフェバーのようなキッチンです。あえて吊り棚を少し低く取り付け、ちょっと中にこもれるような自分だけの特別なスペースを感じてもらいたい——そんな気持ちが込められているそうです。まるで大切な宝物に囲まれているような、素敵なモデルハウスになりました。

今回のリノベーションでは、女性スタッフによる「DIY」もポイントの一つです！壁の色を塗り替えたり、金具を取り付けたり...それって意外と簡単にできちゃう作業なんです。「自分でできる!」とわかった時の楽しさと達成感がやみつきになります。→DIYの様子は次の見開きページでご紹介しております。

モデルハウスでは、スペースごとに壁紙の柄や装飾などの雰囲気がちよつとずつ違います。いろいろある中から「私だったらこんな感じにしたいなあ」と楽しみながら想像してみてくださいね♪



## 夏水組とは？

デザインを通して土地から建物まで既存資産を有効活用した空間づくり、街づくりを提案する夏水組。デザイナーであり代表取締役でもある坂田夏水さんを中心に、独自の感性が生きたリノベーションやシェアハウスを企画。暮らしを心地よく変化させていく仕事に、今多くの支持が集まっています。



多彩な表情が愉しめる「ふすま紙」を壁紙に採用するなど、これまでの家づくりになかった提案も盛り込んでいるので、ぜひ会場で、みて・ふれて、体感してくださいね！



株式会社夏水組  
代表取締役 坂田 夏水





みんなで  
**DIY**

DIYってなに？

Do It Yourself - 「自身で作ろう」  
壁に色を塗ったり、飾り棚を作って  
取り付けたりして、お部屋を自分好  
みの空間に作り変えちゃいませう  
というものです。ようするに日曜大工  
のことですね。

かべ塗装

まずは養生  
テープを  
貼ります！



①養生テープ貼り



②塗装

ローラーで  
塗るの楽しい♡



③完成(寝室)

金具付け



①金具を付ける位置を測る

均一になる  
ようにね。



②金具をビスで留める

インパクトドライバーで  
ビスを打ちます。  
斜めに入らないように垂直に  
するのがポイント！  
力をぐっと押し込むと  
入りやすいです。

がんばれ～



いった！



③完成(キッチン)

タイル貼り

設置スペースに合わせて  
タイルをカットします。



①タイルカット

まっすぐ  
切るのって  
なかなか  
緊張…！

③完成(玄関タイル)



②カットしたタイルを貼る

じゃーん！



貼り付けた後はコテを使って  
隙間を目地材で埋めます。

表面に残った目地材は  
乾かないうちに雑巾などで  
拭き取りましょう。

ちょこっと装飾



壁に黒板塗料を塗って、チョークで  
文字やイラストを描いちゃいます。



照明器具にツタを巻き付ければ  
一気にオシャレ度アップ！

けっこう自分でできちゃうものですね！みなさんもDIYしてみませんか？  
掲載しきれなかった取材後記はブログで紹介中です。  
ainohablog <http://ameblo.jp/ainohablog/>



ainohablog 文/広報 吉川



特集

「リフォームしてみてもうでしたか？」





## リフォームしてみてどうでしたか？



スタッフ

一戸建てリフォームをしたK様にお話を伺いました。  
リフォームしたキッカケはなんですか？



K様

最初のキッカケは、父の足腰に負担がかからないように敷布団からベッドに変えよう!というのが始まりでしたね。あとは、家を建てて暮らしてみたら気づいたのだけれど、父のこの部屋、戸を開けていると、誰かが外から玄関に入った時に部屋の中が見えちゃうんですね。なので、ずっと戸の位置をずらしたいなと思っていました。子どもの部屋を新しく作りたい、などもありましたね。



なるほど!

実際に暮らしてみたらわかる事もあるんですね。  
リフォームをしてみてどうでしたか？



家族みんな、自分の部屋ができて良かったです。  
部屋を片付けなければならなかったのが、物の整理もできましたね。  
なにより工事をしてくれた益子大工さん。工事以外でも電球を付け替えたり包丁まで研いでもくれたりして、本当に助かりました。子供にも気さくに声をかけてくれるので嬉しかったですね!  
とっても人柄が良くて、家族みんな大ファンになってしまいました!



益子大工さんは社内でもファンが多いです。実は私も大ファンです(笑)さて、そんな素晴らしい職人さんたちによって、K様のお家はどのように変わったのでしょうか？



益子大工さん

## もくじ

特集

「リフォームしてみてもうでしたか？」  
(p. 255)

あいらぼ  
「街歩き」  
(p. 657)

あいらぼ  
「街歩き」  
(p. 8)

hako hako  
market  
(p. 9)

イベント見学会  
(p. 10511)

いちおしリレー  
(p. 12)

ainohaのあるお店  
(p. 13)

information  
(p. 14515)



## 1F



益子です！  
リフォーム工事は  
まかせてください。



畳はパイン材のフローリングに変更。新しいパイン材は白っぽいのですが、オスモカラーという自然塗料を塗って落ち着いた色味になっています。壁紙はビニールクロスから、薩摩中霧島壁(土壁)になり、柔らかい雰囲気のお部屋になりました。敷布団からベッドになったことで体に負担がかからず、お父様もよく眠れるようになったようです。



お父様もリフォームを楽しみにされていました。本を読んだり書いたりするのが好きなお父様のために、間仕切り家具としても役立つ書斎棚がつけられました。

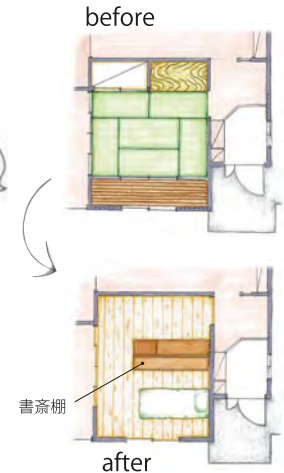
この家具はバラバラの状態運び込んで、その場で組み立ててもらいました。丁寧なのにとっても早いです。



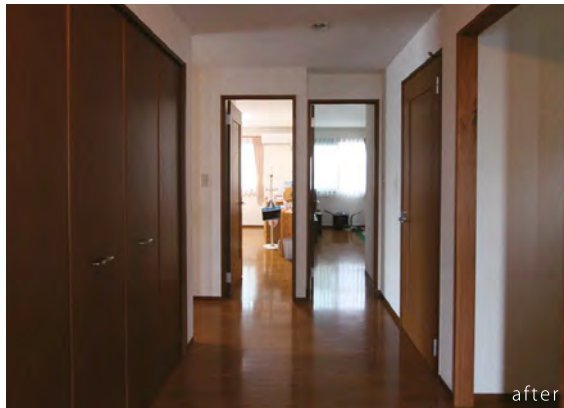
戸があった部分の壁紙は、張り替える際と同じ壁紙が見つからなかったため、あまり目につかない廊下の奥の壁紙を剥がして、貼り替えてくれたそうです。



壁紙屋さんが、壁紙の境目がわからないくらいキレイに貼り合わせてくれました！



## 2F



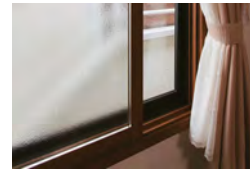
家が完成した後から  
でも部屋を増やすことは  
できるんですよ～



一部屋だったところが、壁で部屋を仕切ることによって二部屋となりました。新しい部屋のドアもきれいに取り付けられており、最初から二部屋あったとしか思えないほど、細部まで丁寧につくられていました。ここは、もともと家族みんなの寝室だったのですが、娘さんにも自分の部屋をということで、この工事が行われました。



ピアノが得意な娘さんのために、夜でも音漏れを気にせずピアノを弾けるように、窓枠や壁の中のボードを二重にして、防音効果のある部屋のつくりとなりました。

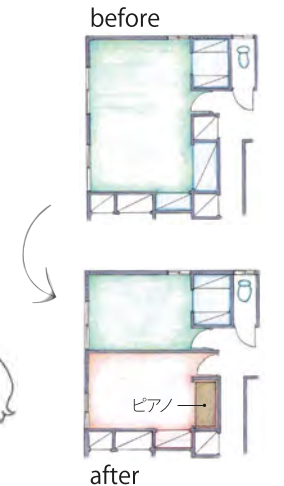


もともとあった窓に、さらにもう一枚新しい窓を重ねてあります。このようなちょっとした工夫で音漏れを防ぐことができるんですね。

夜でもいっぱいピアノを練習  
できるようになったよ♪



職人さんの技術があつてこそ、細かい部分のリフォームができるんですね！リフォームする時には、あなたのお家にも素敵な職人さんがきてくれるかも？



ちなみに取り付けられたドアは、他の部屋のドアを枠ごと移植したもののなんです！  
今あるもので作ってもらえてとっても助かりました。

取材させていただきありがとうございました。

掲載しきれなかった取材後記はブログでご紹介中です。

ainohablog <http://ameblo.jp/ainohablog/theme-10074873583.html>

文/広報 吉川



ainohablog